

【実践報告】

## 『やっほ〜♪ 子育て応援隊』 活動報告

### —— 名護市子育て支援センター『ヤッホーハウス』 育児相談活動報告 ——

## Practice report of childcare consultation at Yahoo House, a support center for mothers and children in NAGO city

小柳 弘恵, 金城やす子, 八田早恵子, 島袋 尚美, 長嶺絵里子  
鯉淵乙登女, 鶴巻 陽子, 大浦 早智, 松田めぐみ

### 要旨

少子化や核家族化に伴い、妊娠から出産、育児に不安を抱える母親は多く、適切なサポート体制の整備が求められている。私たちは保健師・助産師・看護師の資格を持った教員が、母子の健康に関わってきた経験を活かし、昨年度から、屋部に開設されている子育て支援センター『子育て広場・ヤッホーハウス』で育児相談のボランティア活動を行ってきた。

1年間で受けた相談数はのべ86件だった。最も多かった相談内容は【子どもの身体症状】で、次に【子どもの皮膚症状・スキンケア】について、【卒乳・断乳】という結果だった。皮膚症状や卒乳に関しては時期や季節によって多くなる傾向があった。また、母親自身や上の子に関する相談内容もあり、病院を受診して医師に相談するほどではないことを、ちょっと相談する母親が多いことが推察された。“ちょっとしたこと”がすぐに解決することに、この活動の意義があるといえる。

この活動が新しいエビデンスを基に変化する育児情報を母親たちに伝えていく機会になるとよいと考える。また、出産後～育児中の女性は、母親自身より子どもについての気になる事が優先される傾向にあるため、「ここにすれば自分のことも聞くことが出来る」と、母親自身の健康への関心やセルフケア行動に繋がっていくことが期待される。

キーワード：子育て支援, 育児相談, 地域連携, 母子保健

### I. はじめに

少子化や核家族化に伴い、妊娠から出産、育児に不安を抱える母親は多く、適切なサポート体制の整備が求められている。厚生労働省は、平成26年、地域子育て支援事業として、①公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の実施、②NPOなど多様な主体の参画による地域の支え合い、子育て中の当事者による支え合いにより、地域の子育て力を向上することを目的に常設の地域の子育て拠点を設け、地域の子育て支援機能の充実を図る取組を計画した。平成27年度現在、全国各地総計6,818か所の地域子育て支援拠点が展開されている。

名護市では5か所の子育て支援センターがある。保育園併設が4か所あるが、その中の1つ『子育て広場・ヤッホーハウス』は、平成20年4月、屋部のやまびこ保育園

(小橋川真智子園長)に開設された。保育園通園児の保護者だけでなく、地域の育児に関わるすべての人の拠り所、育児の駆け込み寺的な機能をもち、いつでも、誰でも、安心した育児のための地域に開かれた子育ての場となれることを期待して作られた。(写真①②)

### II. 『やっほ〜♪ 子育て応援隊』の活動

#### 1. 目的・活動のはじまり

『子育て広場・ヤッホーハウス』の増築を機に、名桜大学看護学科金城やす子名誉教授が地域看護学、母性看護・助産学、小児看護学の教員に声をかけ、ボランティアチーム『やっほ〜♪ 子育て応援隊』を編成して月1回の育児相談・子育て支援を開始した。開始時の園との申し合わせ事項は図1の通りである。チームの名は、発足当初のメンバーが7人だったことから「ハイホー♪ハ



写真①. 『Yahoo House 子育て広場』外観



写真②. 同 室内

- 1) 日 時：毎月第2木曜日 12：00～14：30
- 2) 担当者：毎回2～3名の教員
 

保 健 師：比嘉 憲枝・島袋 尚美・松田めぐみ
助 産 師：小柳 弘恵・鶴巻 陽子・長嶺絵里子
看 護 師：八田早恵子・鯉淵乙登女
お手伝い：金城やす子
- 3) 定期相談会以外の相談等
 

保育士から代表に連絡していただき、担当者が対応する。

相談等は、内容によってメンバーに依頼する。
- 4) 相談・指導等に関する申し合わせ
  - ・相談者に対する人権擁護等は職業倫理に基づき、配慮する
  - ・ボランティアチームの相談役は、やまびこ保育園園長にお願いする
  - ・相談担当者は、Willに加入、またボランティア保険を利用する（後日確認）
  - ・ボランティア事業に関し、研究的に関わる場合には、大学の倫理委員会の承認を得て実施する
  - ・ボランティアに関する情報交換やチームでの情報共有の機会は適宜行う。

情報共有について、必要時やまびこ保育園園長の参加をお願いする。

図1. 『やっほ〜♪ 子育て応援隊』活動に関する申し合わせ事項

イホー♪』と列を成して行進する“7人のこびと”をイメージし、施設の名前にもちなんで命名した。“7人のこびと”は各々に得意なことがあり、それぞれがきちっと役割を果たして白雪姫を助ける。私たち『やっほ〜♪子育て応援隊』も、保・助・看それぞれの資格と経験をベースに、お母様方の悩み、不安、困り事の内容によって適する者が対応し、軽減もしくは解決に向かうことを願って活動している。

この活動の目的は、大学の地域貢献として名護市の地域子育て支援事業に協力し、相談業務・子育て支援に関わらせていただくことである。妊娠から出産、育児のすべてのプロセスに関わる人材（保健師、助産師、看護師）がチームとなって育児相談・子育て支援をさせていただくことで、地域の母親が安心して暮らせる環境づくりにつながればと考えている。それと同時に、大学教員にとつ

てかけがえのない実践の場でもある。ふだん、私たち看護教員は、看護学生を介して、または学生と共に患者や家族と関わっており、病院の中にはいるが直接的にケアを提供する機会は少ない。臨床から離れて月日が経つと、最新の知識はブラッシュアップ出来ても実践力の低下が危惧される。この活動により、地域貢献をしながら、保健指導や育児相談、母乳育児支援のスキルを磨く絶好の機会を得ている。

## 2. 日時・活動内容

### 1) 育児相談：

『やっほ〜♪ 子育て応援隊』は、毎月第2木曜日、12時30分から14時まで育児相談を担当している。地域看護学、母性看護・助産学、小児看護学の各領域から1名ずつ、保健師、助産師、看護師すべての職種が揃うこと

を原則とし、毎回3〜4名の教員が担当している。実習や行事などで第2週目から移動することもあったが、開始からの1年間、毎月1回の活動は欠かさず継続してきている。

主な活動内容は、育児に関する“よろず相談”である。特別に相談コーナーを設けているわけではなく、通常通り行われている母親の交流の中に入り、適宜、相談を受ける。当初は、『子育て広場・ヤッホーハウス』の保育士が、いつも利用している母親たちに積極的に声をかけてくれて活動が成り立っていた感があったが、次第に口コミで広がっていった。ママ友ネットワークの力は大きい。相談者の中には、「あと何日だから・・・と数えて、この日を待っていた」と言う母親もいた。(写真③)

2) ミニ講習：

毎月の育児相談のほか、健康教育としてミニ講習を実施した。初回は、近年増加している乳がんについて、最新情報と自己検診法をレクチャーした。乳がん闘病中の元アナウンサーが亡くなったことは記憶に新しいと思うが、近年、乳がんは女性が罹るがんの中で最も多い。そ

して、年間13,000人以上が乳がんで死亡しており、年齢部位別に死亡数を比較すると、40歳代の女性では乳がんによる死亡が圧倒的に多い<sup>1)</sup>のである。特に妊娠・授乳期に発症する乳がんの予後の悪さが明らかになっている。早期発見早期治療は、すべてのがんに共通することではあるが、子育て中の母親はとかく自分の身体の事は後回しになりやすいので、日常の中のセルフチェックと健診への動機付けは重要である。このミニ講習をきっかけに受診して良性腫瘍が発見されたケースがあった。(写真④)

次回は12月に子どもの事故防止をテーマに準備中である。

3. 育児相談件数と内容

1年間で受けた相談数はのべ86件だった。相談内容を分類すると8つのカテゴリーおよび20のサブカテゴリーが抽出された。(表1)最も多かった相談内容は【子どもの身体症状】に関する11件で、続いて【子どもの皮膚症状・スキンケア】についての10件、【卒乳・断乳】(近年では、子どもには母乳を飲む権利があるという考えに基づき、母親だけが主体の断乳という用語は使われなく



写真③：育児相談の様子



写真④：ミニ講習

表1. 相談内容

カテゴリー	サブカテゴリー	相談内容	
子どものこと 身体面	皮膚症状・スキンケア	アトピー	父がアトピー 顔～足まで結構ひどい1日4回軟膏塗布。
		スキンケアについて	耳の後ろかさかさし、切れている。
		あざ・湿疹	足のほくろが気になる。左ふくらはぎの蒙古斑みたいなものも、広い範囲にある。首の後ろに湿疹があり、お風呂上りに出ることが多い。
		かゆみ	子どものかゆがる、小学校で毛虫ばいと言われて、勝手に薬をつかってよいか。病院受診したほうがよいか。
		湿疹	湿疹、あせもかぶつぶつがある。毎日海で洗い流している。出たときもかゆがらない。やけにくくて、皮膚が弱くて、日光でぶつぶつが出る、赤くなる。父がアレルギー性鼻炎を持っている。
		水いぼ	水いぼ
		乾癬?	足の踵の皮がむける。

カテゴリー	サブカテゴリー	相 談 内 容		
子どものこと	皮膚トラブル	皮膚トラブル	注射で大宮に通っている。クリーム、ワセリンをぬってふやかして、石鹸できれいに洗い流す。赤みが出る、膿が出る。今の沐浴(変わってきている時期)	
		皮膚トラブル	小2の兄が皮膚弱い。あせもがひどく、背中一面にでる。とびひにもなりやすい。皮膚科にも通っている。	
		虫刺され	あしのここのはれ→虫さされがはれている。	
	身体症状(皮膚症状・食物アレルギー以外)	臍ヘルニア	来週木曜日に入院。金曜手術。お臍も少しへこんでいる(3か月で5cm伸びた)少し触るようになってきた。	
		発熱	3日くらい不明熱のため、血液検査。感染症状なく、扁桃腺もち。	
		嘔吐	母乳、ミルクで混合中だ、もどすことがおおい。	
		臍手術後	へその手術後少し赤みが気になる。	
		毛巣洞について	おしりの上に穴があいている。	
		被膜残存症	6か月の時に皮膚科で診断され抗生剤軟膏を塗布中。「手術時期を決めて」と言われたが、いつが良いのか。	
		手足の冷え	寝る前に手足が冷える。	
		便秘?	排便時に大声で泣く。以前は少し出血もあったが、便は固くなく柔らかい。食べ物・水分も気にしている。	
		便秘?	毎日出した方が良いとか、出さなくていいとか、いろいろで迷う。綿棒で出していた時もあるが、とても固く、浣腸でどっさり出る。食欲あり、ヨーグルト、野菜などもしっかりあげている。	
		体重の増えすぎ	体重の増えすぎが気になる(成長曲線の上の方にいる)小さいころにふとっていると大人になってもひまんが心配。	
		頭の形	吸引分娩だったから頭の形が気になる。	
	食物アレルギー	アレルギー	普通のミルクをあげると口の周りに湿疹。アレルギーミルクをあげるとよくなってきた。	
		食事、アレルギーについて	7Mで卵でアナフィラキシー直前までいった。食事のバランスについて、野菜、魚は食べるが、肉は食べない。子ども用に作っているのか、とりわけでいいのか。	
		アレルギー	たまごアレルギーがあるかも。かゆい感じがする。(皮膚にはでていない、卵白)	
	齶歯・歯列	むし歯ケア	下の歯が1本生えてきている。おっぱいトラブルはない。むし歯ケアを気にしている。	
		乳歯	歯4本しかなく、小児歯科、かかりつけをさがしている。	
		歯列	母の歯並びが悪いので、子どもの歯並びを良くしたい。フッ素は半年に1回している。指しゃぶりが気になる。	
	発達面	子どもの行動	子どもの行動・しぐさ	耳をしょっちゅう押さえているのが気になる。膝の中に入ってきたがる。
			耳掃除	耳掃除をいやがる。
			子どもの行動	かみつきの、つばはき
		言葉の発達	言葉	4月に転勤する。言葉が少ないが意味は分かっている。名前を呼ぶと振り向く。ばなな⇒ば〇、他の子どもと遊べないのが気になる。食べムラがある。
			成長発達に関する事	言葉がでずになん語だけしかない(アー、ウーなど)はいはいも遅くてゆっくりだが療育園に通っている。
		発達	3歳半健診。言葉の遅れ。コミュニケーションが苦手、話しかけても単語、視線があわない。1歳半で要観察であった。4歳で保健師と面談があり、心理さんにもつなでくれる予定。こだわりで執着あり。保育士の話も聞いてしたがえる。素直で乱暴にしたりもしない。母親がおおらかに接している。	
		身体面の発達	発達	ずりばいは必要か。
	歩き方		左足が少し内股、引っ張るような歩き方が気になる。	
	発達の遅れ		10月の仕事復帰に合わせて9月からならし保育をしている。少し成長が遅く、哺乳瓶での夜のミルクも最近やっとやめた。療育園にもかかっている。	



カテゴリ	サブカテゴリ	相 談 内 容		
子どものこと	生活面	発達の違い	はいはいをしない, おすわりもしない。早生まれ 月齢のおそいのはいつまで?	
		離乳食	離乳食	離乳食が進まない。祖母に「おっばいのせいだ」と言われる。
			離乳食	離乳食が進まない。舌の使い方がまだ上手ではない。固形のものもまるのみか吐き出す。
			体調, 離乳食	先週発熱した後から, 離乳食や母乳が進まない。トマト, みかんが好きで好きなものしかあげない。
			離乳食	ご飯, 野菜, 魚のメニューでワンパターンになってしまっている。
			離乳食	離乳食の進め方 (たんすい化物→たんぱく質→たまごもOK) の確認。
			人工乳	フォローアップミルクにした方がいいのか。
			体重増加不良	2か月で体重が1.2kgしか増えていない。離乳食も1日1回でほとんど食べない。(興味がない)
		幼児・学童期の食事	食事内容について	野菜をあまり食べない。
			食事	食事に対して過敏になっている。これ何?大丈夫?どうなるの?と聞く。
	上の子の食事		小6の男子の体型(がりがり)で本人も気にして偏食がること。	
	感染予防	予防接種	現在9か月。インフル注射してもいいか?両親はいつもしている。予防接種で, 今までは熱が出た事もない。	
			誤飲	マスキングテープを飲み込んだかもしれない。2週間たっても出てこないので大丈夫か。
	事故・事故防止	うつぶせ寝	赤ちゃんが夜等, 寝ている間にうつ伏せになってしまうが, そのままでよいか。	
		生活リズム	生活リズム	夜中に起きてぞっと遊び, 昼間寝ている。7か月頃に朝起こしたりして見たがダメだった。
			生活リズム	寝るのが遅く22時後に寝て, 6時に起きる。大人にリズムを合わせてしまっている。
	生活リズム		AM 7:00 ~ PM10:00 起きている。	
	母親のこと	出産について	分娩	正産期になったら出そうと言われた。
分娩方法 (TOLAC) 希望			第2子妊娠7か月。前回34週PROMで搬送され帝切だった。今回は経陰希望だが可能か? 「34週になったら赤十字に行けばよい」と言われたが, それで大丈夫か。	
産後の身体症状		産後の膝の痛み	産後, 膝の痛みがある。	
		産後倦怠感	産後の怠さが気になる。	
		産後の出血	産後5か月の時, 出血, 3日ほど続いた。	
月経について		月経の症状	生理がこれまでと日数は同じだが量が減っている。周期が25日以下だと卵巣機能。	
		月経の再開	月経が再開しない。	
母乳育児について		卒乳	乳房トラブル・卒乳	1週間前に乳腺炎になり, 第2子を考えていることもあり, この機会にやめたいと思い, 昨日から飲ませていない。大丈夫か。
			卒乳	4月から復職予定。つまりやすいので卒乳してから保育園に入りたい。
			卒乳	4月から入園し, 5月から復職。卒乳しないといけない? 本当はやめたくないのかも・・・。
			卒乳	4月から復職予定。いきなりやめるのはさみしい。園に預けながら家ではあげたい。
			断乳, 母の体調	マンモで少し影がみえた。断乳しなさいといわれた。母はまだやめたくない。
			断乳	手術前の断乳について。
			卒乳, 乳房のしこり	自分で卒乳をした。乳腺炎(左)になり現在しこりがきになる。
			乳房	卒乳1か月前にやった。2週間前にTelあり。乳輪回りがふわふわになっていた, やわらかくなっていた。
			卒乳	11月の復帰を考えているので卒乳。前に乳腺炎を起こしたことがある。

サブカテゴリー	相 談 内 容			
母親のこと	乳房トラブル	乳房トラブル	乳腺がつまり気味。中部の助産院に診てもらっている。葛根湯も飲んでいる。卒乳を考えている。	
		母乳	おっぱいが両方不定期に痛くなる（はりではない）。3か月前に流産した。（関係しているのか？）	
		乳房のしこり	右側乳房（乳頭）に水泡ができつづれた。20歳の時に良性の腫瘍があった。	
	母乳相談	遊びのみ	歯がはえてきて、乳首かむ。	
		母乳の与え方	ミルク80-200x 4回位、今日から2回食、母乳もう少しあげたい。7.7kg	
		母乳での体重増加について	母乳のみでの体重増加が気になる。	
		乳房左右差	乳房の左右の大きさ、柔らかさが違う。授乳すると児は左は良く飲むが右は嫌がる。上の子は殆どミルクだった。	
		遊び飲み	最近遊び飲みが増えてきて、12回/日ぐらいになっている。夜は4時間ぐらいあいている。おっぱいも出なくなってきている気がする。	
	そい乳	そい乳は大丈夫か。		
	乳がんについて	乳房の硬さ	左右の乳房の硬さがちがう。臨床検査技師から1歳半で卒乳をし、マンモグラフィーを勧められた。	
		乳房のしこり	両方の乳腺のしこりがあり、ゆいクリニックに通院中。体重がすごく減っているのも気になる。	
	子育てに関する思い	母子関係	子育て	長女が1歳の時に次女が低出生体重（800g）で生まれた。ゆっくり子育てできるようにになった。
			母子関係	大学2年の時に妊娠し退学した。復学して資格も取りたいが、今は子育てを優先している。子どもが離れていくのが気になる。
母子関係			妹に厳しいのが気になる。	
子どもを預ける	ファミサポの対応	利用の電話をしたら、事務の人が親切心で「事務所まで預かるよ」と言ってくれ、数回お願いしたが、ちゃんとしたところで遊ばせてくれる人を見つけてほしい。		
	復職・入園	1月復帰予定だが入れるところがなく探し中。		
	沖縄の保育園事情	保育園に入れないといけない？ 時期は？ 沖縄と県外との違いがわからない。		

なっている）に関する9件であった。病院を受診して医師に相談するほど急を要する症状でもなく、かと言ってやはり気になる・・・というようなことを、ちょっと相談する母親が多いことが推察された。また、子どもの皮膚に関する相談や卒乳に関しては、時期や季節によって多くなる傾向があった。

年明けの時期は卒乳に関する相談が多かった。保育園の入園を控えた時期に、「どのように卒乳すればよいか」「保育園に預けるために母乳をやめなくてはいけないのか」「まだ母乳がたくさん出ているようだが、乳腺炎とかにならずに止められる？」と、内容はさまざまだったが、保育園入園に際して母親の不安な気持ちが伝わってきた。

梅雨時期以降は子どもの皮膚トラブルについての相談が増えた。湿疹やアトピー性皮膚炎など、乳幼児の皮膚症状は日常的に母親が気付きやすいことである。また、湿度の変化により悪化しやすいものであるから、母親の不安要素になりやすいことが推察された。

また、乳幼児のことだけでなく母親自身の身体や上の子に関する相談もあった。

全86件のうち子どもの年齢が明らかになっている52件を年齢別にみると、0歳が最も多く25件、次いで1歳の19件だった（表2）。

表2. 子どもの年齢別相談件数

子どもの年齢（歳）	相談件数（件）
0歳	25
1歳	19
2歳	3
3歳	1
4歳	0
5歳	4
不明	34
計	86

### III. 考察

#### 1. 母乳育児に関して

卒乳に関する相談に対しては、個別性を考慮する必要もあるが基本的なことは同じなので、卒乳についてよく受ける質問をまとめてQ&Aパンフレットを作成した。園長の許可を得て支援センター内に置かせてもらい、自由に持ち帰れるようにした。私たちが来所しない日でも、母親が気になったときに手にすれば、疑問や心配を抱えて過ごす時間が短くてすむ。パンフレットには卒乳に適するタイミングや方法も記載した。上手に卒乳するには母子ともに覚悟が必要であるし、家族の協力が得られることが望ましい。パンフレット作成には、本当に卒乳をしたいのかを母親自身がじっくり自問自答してから決行するようにというねらいもある。また、家に持ち帰って夫や家族と相談することで、育児に関する方針を話し合うきっかけにもなるし、母乳育児は母親だけの役割ではなく家族みんなで取り組むことにつながる。サポートの段取りを決めるなど、子育てを周囲の人に支えられている感覚を母親が持てると育児の負担感が軽減され、楽しく子育てができるだろう。

家庭内での卒乳に関する方針とスケジュールが決まったら、次に私たちが来所する予定日から遡って5日〜1週間くらい前から母乳を止めていてもらえば、来所の際に卒乳後の乳房の経過を観ることができ、トラブルの予兆があれば早めに対処することが可能である。

母乳には、免疫効果だけでなくIQや認知機能を高めることや糖尿病や肥満のリスクを下げるということが明らかにされているが、母親が母乳育児を継続するには母親の求めるタイミングで適する支援がされることが重要である。

北部の産科施設にはいつでも受診できる母乳外来がないため、乳腺炎など急な乳房トラブルが起こると中南部の助産院や病院まで行かなければならない。通院の不便さゆえに、乳房トラブルが母乳をやめるきっかけになる可能性もある。トラブルの予兆を早期に見つけて対応が出来れば、母親の負担が軽減されるし、母乳育児を継続しやすくなる。母乳で育てたい母親が少しでも長く母乳育児を継続するための支援として、相談時に母親が希望すれば乳房の状態を観て必要に応じて乳房ケアが受けられるよう個室が用意された。その結果、表1にもあるように乳腺のつまりや母乳分泌不足感、卒乳後の経過観察などの相談が数件あり、いずれも母乳育児の継続または順調な卒乳につながった。相談者は中部まで行かずに乳房ケアを受けられたことに満足していた。このように、『子育て広場・ヤッホーハウス』には、卒乳まで継続して母乳育児を支援する環境が整えられている。

#### 2. 最新のエビデンスを基に新しい育児情報の提供

乳児のスキンケアの方法に関するエビデンスが新しくなっている。例えば、赤ちゃんの沐浴は近頃はガーゼを使わない。以前は、どこの産科施設でも、赤ちゃんの洗顔は洗浄剤を使用せずガーゼで軽く擦るように洗う方法を伝えていた。ところが、綿タオルより摩擦係数が高いガーゼの使用は、擦過により皮膚が傷つき乳幼児の皮膚トラブルの原因になる可能性がある<sup>2,3)</sup>ことが明らかになり、今では泡洗顔が主流になっている。大人の洗顔と同様にホイップ状の泡で洗うことが推奨されている。ベビーパウダーもずいぶん前から使わなくなっている。

離乳食に関してもアレルギーの問題や母乳育児のメリットが明らかになって、離乳食開始前の果汁は不要とされている。フォローアップミルクに関しても知見が変わってきている。

このように、『やっほ〜♪ 子育て応援隊』の活動が、新しいエビデンスを基に変化する育児情報を母親たちに伝えていく機会になるとよいと考える。

#### 3. 相談内容の多様化と発展

母親たちからの相談は、主に母乳育児に関すること、子どものことであった。それらの多くは、わざわざ病院に行って医師に相談するほどでもない“ちょっとしたこと”であるが、“ちょっとしたこと”がすぐに解決することに、この活動の意義があるといえる。そして、“ちょっとしたこと”がすぐに解決されることの積み重ねと、不安が軽減される心地よさから、顔見知りになった安心感が生じていった。すると次第に、同じ母親から度々、様々な内容の相談を受けるようになり、相談内容が子どもに関することから母親自身のことへ、“ちょっとしたこと”から少しシビアな内容へと変化していった。すぐに解決しない内容の相談は受診行動につながる内容であることが、1年間の活動を振り返って明らかになった。つまり、相談の積み重ねで築かれた関係性が、躊躇したり先延ばしになっていた受診を後押しする動機づけになった可能性がある。出産後〜育児中の女性は、自分のことより子どものことが優先される傾向にある。「ここにすれば自分のことも聞ける」とロコミで拡がり、ミニ講習と相まって、母親自身の健康への関心やセルフケア行動に繋がっていくことが期待される。

また、母親と一緒に来所しているのは乳幼児であるが、小学生や中学生になる上の子についての相談もあったことから、第1子に関しては子どもが何歳になっても母親にとっては初めての経験なので、悩みや不安は尽きないことが推察された。

#### IV. 今後の課題

このように、『やっほ〜♪ 子育て応援隊』を活用するきっかけは乳幼児に関する相談であるが、よく話を聞くと上の子に関する相談も出てくることから、子育て中の母親は、初産・経産の別や子どもの年齢に関係なく、常に悩みや疑問・不安を抱えていることが伺えた。

「健やか親子21」の基礎課題として、学童期・思春期から成人期に向けた保健対策が掲げられている。学童期・思春期における健康問題には、家族の関わりや背景が大きな要因となる。子どもの成長・発達を母親が適切に支援できるように母親の支援も重要である。平成29年4月、改正母子保健法の施行により「子育て世代包括支援センター」の設置が市町村の努力義務として法定化され、平成32年度末までの整備を目標としている。ここでは、妊娠期〜子育て期、特に3歳までに重点を置いているが、「地域の実情に応じて18歳までの子どもと保護者に対しても柔軟に運用する<sup>4)</sup>」とされている。10代に関する健康課題が多い沖縄県においては、幼児期以降の子どもや親も手厚い支援が必要な対象といえる。

よって、学童や思春期に差し掛かった子どもをもつ母親に対しても支援が必要である。今後は、学童クラブや小・中学校と連携し、思春期の成長・発達の特徴や健やかな心身の発育のための親の役割についてなど、学童期以降の子どもをもつ母親対象のミニ講習や相談活動を展開していけるとよい。

また、前述のように、母親自身の健康への関心やセルフケア行動を高めるために、『子育て広場・ヤッホーハウス』でのミニ講習を年3回程度の定期開催にしていきたい。

さらに、育児中の母親を悩ませる要因として、実母や義母との世代間ギャップがある。ミニ講習での企画やパンフレット作成などの方法で、母親にとってキーパーソンである実母や義母にも最新の子育て情報を発信していけるとよい。

#### V. おわりに

冒頭で述べたように『やっほ〜♪ 子育て応援隊』は、本学看護学科の複数の領域の教員により構成されている。それが結果的に、利用する母親の多岐にわたる相談に対応できた所以であり、強みであることが明らかになった。母親が健康な生活を維持し、子どもが子どもらしく健康に生きるための支援に微力ながら貢献できればと考えている。担当する教員の輪が広がること、さらには育児にかかわる母親たちの輪が広がることを願っている。子育て支援広場の認知度を向上させ、一人で悩まな

い育児の推進のために育児支援活動を定着させていきたい。

なお、本稿の紀要掲載に際し、倫理的配慮として、やまびこ保育園小橋川真智子園長と施設の皆様に承諾をいただいている。

#### 引用参考文献

- 1) 国立がん研究センター：日本の最新がん統計まとめ、最新がん統計、がん情報サービス、[http://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/summary.html](http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html) [2017.11.15検索]
- 2) 杉山剛，窪川理英 他：スキンケアを重視した新しい沐浴法が新生児の皮膚状態に与える影響，日本小児皮膚科学会雑誌，35 (3)，2016.
- 3) 杉山剛，竹田礼子，高野和美：新生児の沐浴法を改善！山梨大学医学部附属病院産科病棟での「あわあわ沐浴法」導入，助産雑誌，医学書院，70 (3)，2016.
- 4) 厚生労働省：子育て包括支援センター業務ガイドライン，平成29年8月，[www.mhlw.go.jp/file/06./kosodate\\_sedaigaidorain.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/06./kosodate_sedaigaidorain.pdf) [2017.11.15検索]